

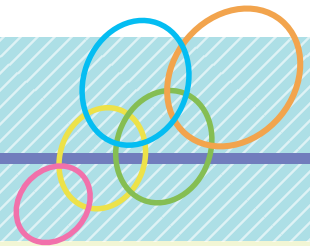


加茂市立石川小学校



つながりを大切にしたい

支部長 小田 貴樹 葵中学校(平成元年度)



私が学生の頃、野外活動部に所属し、小中学生の長期キャンプや林間学校の運営スタッフとして4年間活動していました。

長期滞在型キャンプと称した「子ども村」や喘息児対象の水泳キャンプ、ジュニアリーダー養成講座、スキーキャンプなど、社会教育関係の事業に多く参加し、キャンプファイヤーの井桁組みやレクリエーション、ロープワーク、救急法など多くの事を体験しました。そして何よりも子どもたちとの活動が楽しかった事を思い出します。

特にキャンプ最終日には今まで寝食を共にしてきたこともあり、終了時の充実感や子どもたちとの別れの寂しさから涙することもありました。振り返ると貴重な経験や感動する場を体験できたことで「教員になりたい」という気持ちをより強くさせたのだと思います。

そして、教員として36年目を迎えました。今までの自分の指導が適切であったのかと反省することばかりですが、管理職になってからも変わらず意識していることは、「何かある前につながっておく」ということです。

管理職は学級担任と違い、子どもたちを把握することが

難しくなりますが、立場は違っても、子どもたちにつながっている感覚があることで、孤独を感じないと思うのです。このことを心がけることで、職員から生徒指導等の報告を受けた時、顔が思い浮かび、その子の日頃の様子が分かることで次の対応が見えてきます。

卒業ソングで、ドラマの主題歌にもなった「ベストフレンド」にある歌詞で「時には急ぎすぎて見失うこともあるよ仕方ない、ずっと見守っているからって笑顔で」という一節があります。傷ついても隣に寄り添ってくれる人がいるという深い信頼関係が伝わってきます。

子どもに限らず大人も同じですが、身近に自分のことを思ってくれる人や、味方になってくれる人がいると感じることで、安心して生活できるのだと思います。学校においても、子どもたち一人一人のことを「いつも見ているよ」という仲間や大人の気持ちがつながっていることで、安定した学校生活を送れると思います。

子どもたちを取り巻く環境は多様化してきていますが、子どもたちや保護者、地域とのつながりを大切にしながら、学校運営に努めていきたいと思っています。